

事務事業名		成人式の開催事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	28 社会性豊かな青少年の育成						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 青少年育成のための連携強化と意識啓発						01	10	05	01	04
根拠法令												
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課										
	課長名	江刺雄輝										
	係名	生涯学習係	電話	27-3111								
	担当者	柳本綾子	内線	272								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・成人の門出を祝い飛躍を祈念するとともに、成人としての自覚を啓発するため、新成人による実行委員会を組織し、成人式を開催する。 ・主な業務は、実行委員会の委員選出(市内在住の新成人者の情報収集、地区ごとに2〜3名程度個別依頼)、実行委員会の開催(委員20名、2回開催)、式典の準備(新成人のリストアップ、案内状の送付、来賓への案内、記念品の配布、パンフレットの作成、駐車場整理委託)、記念行事の準備、新成人の受付(委員)、進行管理(教育委員会)。 ・事業費は、成人者記念品代、パンフレット印刷費、花代、駐車場整理委託費などに支出される。						総 投 入 量 (千円)	事業 費 内 訳	国庫支出金				
								都道府県支出金				
								地方債				
								その他				
								一般財源				
								事業費計(A)		0		
人件費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計(B)		0									
	トータルコスト(A)+(B)		0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
	ア 成人式実行委員会の開催回数	回
	イ 実行委員数	人
ウ		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		
成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布、成人式の開催		
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		
昨年度と同じ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
新成人	名称	単位
	カ 新成人数	人
	キ	
	ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
成人の飛躍を祈念する。 成人としての自覚をもってもらう。	名称	単位
	サ 成人式に出席した新成人の数	人
	シ 新成人の成人式出席率	%
	ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
社会のルールを身につけてもらう。 社会や地域のことを考えるようになってもらう。		

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
			千 円						
			千 円						
			千 円						
			千 円						
			千 円	334	322	351	467	306	306
	事業費計 (A)		千 円	334	322	351	467	306	306
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	2	2
		延べ業務時間	時 間	380	360	360	270	380	380
		人件費計 (B)	千 円	1,520	1,440	1,440	1,080	1,520	1,520
トータルコスト(A)+(B)		千 円	1,854	1,762	1,791	1,547	1,826	1,826	
⑤活動指標		ア	回	2	3	3	2	2	2
		イ	人	15	19	19	20	16	16
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	483	450	459	479	500	500
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	人	367	363	364	392	400	400
		シ	%	76.0	80.7	79.3	81.8	80.0	80.0
		ス							

事務事業ID	0833	事務事業名	成人式の開催事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
昭和27年、大船渡市市制施行以来、毎年開催してきている。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
近年の少子化に伴い、成人式対象者が減少傾向にある。 一時は成人式会場に酒類や花火を持ち込んだり、会場で騒いだりする成人が見受けられたが、ここ数年は落ち着いた式典となっている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
成人式の開催時期について、アンケート調査の結果や県内各市町村の実施状況等により、平成23年度以降1月の開催とし、平成27年1月11日(日)に開催した。成人式の実施時期については、成人者の家族の関心も非常に高く、電話等で貴重なご意見が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	成人式に出席することで、成人としての自覚をもってもらうことは、社会のルールを身につけ、社会や地域のことを考えるようになってもらう機会でもあるため、結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	実行委員会だけでは開催は難しく、実質的には市が行わなければ実施することできない。市の施策目的である青少年の健全育成にも結びつくため、公共関与は妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象は、毎年度20歳を迎える新成人であり、拡大・縮小の余地は無い。 意図についても、成人者の飛躍を祈念し、成人としての自覚をもってもらうことであり、拡大・縮小の余地は無い。	
	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	新成人の対象人数が毎年度横ばいであり、成人式に出席する新成人の人数が大幅に増える見込みは無い。 また、新成人の成人式への出席率は高い率で推移しており、大幅な出席率の向上は見込めない。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	成人としての自覚を持たせるための類似事業がなく、成人者の家族も成人式を人生の大きな節目と考えているため、廃止した場合の影響は大きいと思われる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	他に類似事業がない。 他に手段がない ⇒【理由】	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	会場使用料についてはリアスホールの使用により削減されたが、他の経費はパンフレットや会場設営に係る経費であることから、削減は難しい。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	ほぼ1名の職員で事業準備に当たっているため、所要時間の削減は難しい。当日の会場整理や進行管理には、他の市職員の動員も必要であり、業務時間数の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	ここ数年、出身中学校ごとに撮影する記念写真を記念品としており、出席した新成人にのみ配布しており、有効性と効率性の両面に寄与している。	

事務事業ID	0833	事務事業名	成人式の開催事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 新成人は高い参加率で、式典中の態度や記念写真の撮影も概ね良好であった。野球評論家小宮山悟氏の講演や、盛小学校の児童による市民歌斉唱は好評であり、雰囲気の良い式典であった。 また、成人者家族等の参観が年々増加している。																						
☒ ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 従前どおり式典運営する。ただし記念行事、記念品選択等は、新成人の意向を可能な限り反映させるよう努力する。																							
		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 実行委員が成人式の運営に主体的に関わるよう取組みが必要である。そのため、早期に実行委員を委嘱し、企画立案に時間をかけて実行委員の活躍の場を確保したい。																								

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	江刺雄輝
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務事業執行がなされている。																					
☒ ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事務事業を実施する。																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項